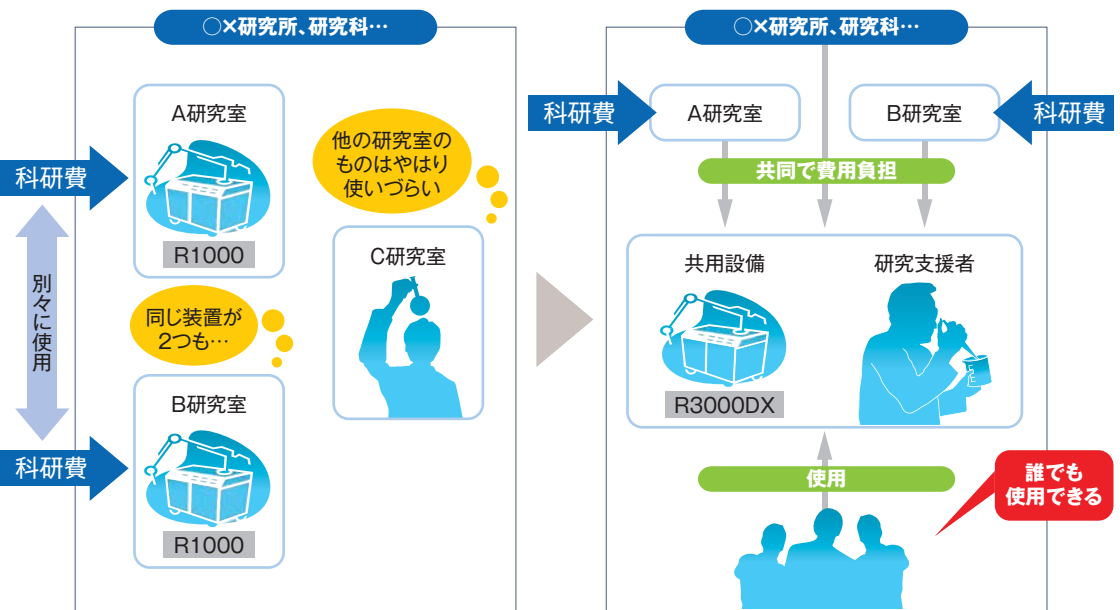


4. 科研費トピックス

複数の科研費による共同利用設備の購入が可能に

科研費制度では、平成24年度から研究費の効率をより高めるために合算使用の制限を大幅に緩和します。
この制度改革により、これまで単独では購入が難しかった高額な機器も、研究者が共同で費用を負担することで、共用設備として購入が可能となるなど、これまでよりも研究費使用の自由度が高まることにより、より一層研究が進展することが見込まれます。

<研究費使用の改善イメージ>



☆異なる科研費の合算による設備の購入を可能にし、設備の共用を促進する。
☆各ケースごとに、拠出額、共用ルールなどを合理的に定めておく。

平成24年度科研費の交付内定(4月1日)について

科研費制度では、研究者の方々に年度当初から研究に着手していただけるよう、ほとんどの採択課題の交付内定通知を4月1日に行っています。

平成24年度採択分については、以下の研究種目について、4月1日に交付内定を通知しました。

文部科学省交付分

「特定領域研究」、「新学術領域研究(※)」、「特別研究促進費(継続)」、「研究成果公開促進費(研究成果公開発表)」

(※) 研究領域提案型の新規の研究領域分を除く。

日本学術振興会交付分

「特別推進研究(継続)」、「基盤研究(S)(継続)」、「基盤研究(A・B・C)」、「挑戦的萌芽研究」、「若手研究(S)(継続)」、「若手研究(A・B)」、「研究活動スタート支援(継続)」、「奨励研究」、「研究成果公開促進費(学術定期刊物、学術図書、データベース)」



「ひらめき☆ときめきサイエンス」とは、大学で行っている最先端の科研費の研究成果について、小中高校生の皆さんが、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

○平成23年度「よく工夫されたプログラム」の事例紹介



『身近な不思議発見隊
—おコメができるまで大研究—』

経塚 淳子(東京大学・大学院農学生命科学研究科・准教授)

.....
 いろんなイネを観察したり、おコメからできたおやつを食べたりして、おコメのでき方、加工について学びました!



『学習中の君の脳の働きを実際に測って、
脳博士になってみよう!』

黒田 恭史(佛教大学・教育学部・教授)

.....
 学習中の脳活動データを実際に計測・分析して、自分の脳活動の特徴について発表しました!



『泡で金属をたたいて強くする』

祖山 均(東北大学・大学院工学研究科・教授)

.....
 水(液体)が水蒸気(泡;気体)になる現象について学び、発生器をつくって実際に泡を発生させました!

平成24年度も、夏休みを中心に、多くの体験プログラムを実施します。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」の詳細は、<http://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html> をご覧ください。